

《担当者名》高橋 由紀 t-yuki@hoku-iryo-u.ac.jp

**【概要】**

支援を提供する対象が誰であれ、どのような生活場面であれ、求められる支援に導くため介護過程という思考が必要である。介護過程という、科学的思考と問題解決思考について理解できるように、展開の基本視点を学ぶ。

**【学修目標】**

1. 利用者の生活を支えるための介護過程についての意義・目的を理解する。
2. 利用者理解を深めるため情報収集を理解する。

**【学修内容】**

| 回  | テーマ              | 授業内容および学修課題   | 担当者 |
|----|------------------|---|-----|
| 1  | オリエンテーション        | 授業の進め方、評価方法などの説明  | 高橋  |
| 2  | コミュニケーションについての理解 | コミュニケーションの意義を理解する   | 高橋  |
| 3  | コミュニケーションについての理解 | コミュニケーションにはどのようなものがあるか、その特徴について考える                        | 高橋  |
| 4  | 介護過程の意義と目的       | 生活支援の考え方と介護過程の必要性について学ぶ                                   | 高橋  |
| 5  | 介護過程の意義と目的       | 日常において自分自身が無意識のうちにしていることを理解する                             | 高橋  |
| 6  | 介護過程の意義と目的       | 行動を意識しながら行うことを理解する  | 高橋  |
| 7  | 介護過程の意義と目的       | 日常において自分自身が無意識に行っていることを介護過程においてはその展開を意識しながら行うことであることを理解する | 高橋  |
| 8  | 介護過程の意義と目的       | 日常生活における個別ケア、自立支援、尊厳の保持とはとはどのようなことなのか学ぶ                   | 高橋  |
| 9  | 介護過程の理解          | 介護過程の展開という思考過程を理解する                                       | 高橋  |
| 10 | アセスメント           | 情報とは何かを学ぶ   | 高橋  |
| 11 | アセスメント           | 情報を集める際「事実」の捉え方について学ぶ                                     | 高橋  |
| 12 | アセスメント           | 客観的観察と主観的観察を実際に学内を観察して学ぶ                                  | 高橋  |
| 13 | アセスメント           | 記録の注意点を理解する   | 高橋  |
| 14 | アセスメント           | ICFについて学ぶ   | 高橋  |
| 15 | まとめ              | 今までの授業の振り返り、介護過程論について                                     | 高橋  |

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

提出物40% 定期試験60%

**【教科書】**

介護福祉士養成講座編集委員会編『最新・介護福祉士養成講座9 介護過程 第2版』中央法規 2022

**【備考】**

この科目は介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「介護」の教育内容の「介護過程」に該当する。

**【学修の準備】**

授業終了時に提示する課題のレポートを作成すること。(30分)

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2,1,3

**【実務経験】**

介護福祉士

**【実務経験を活かした教育内容】**

介護老人福祉施設での介護福祉士としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実務的な教育を行う。